

## 経済センサス - 基礎調査における調査事項の検討について

### 1 調査の概要

平成 26 年基礎調査では、正確な企業単位の名簿を早期に作成するため、調査実施年の前年である平成 25 年に傘下支所保有企業等を対象に企業構造を的確に把握するための調査を実施し、平成 26 年に全ての事業所を対象に、事業所の定義に沿った確実な捕捉及び事業所ごとに正確な情報の把握を行う調査を実施する併用案を検討しているところである。

### 2 調査事項

平成 25 年に実施する調査では、企業構造を的確に把握するための調査事項として、企業構造に係る基本的事項のほか、企業の合併・分割の状況、傘下事業所に係る休業・廃業等の状況、経理を把握している事業所、更には、母集団整備を効率化するための事項として企業を特定するための各種コード等を把握することとしている。

また、平成 26 年に実施する調査では、事業所ごとに正確に把握するための調査事項として、従業者数、事業の内容等の基本的事項のほか、個々の事業所を同一の事業主体に同定するために本・支の関係についても把握することとしている。

### 3 調査事項を検討するにあたって

調査事項を検討するにあたって、基礎調査の結果は事業所・企業を対象とした各種統計調査の母集団情報として利用されることを踏まえ、本社等から把握した方が正しく報告される調査事項と各事業所から把握した方が正しく報告される調査の観点から整理する必要がある。

また、企業構造の事前把握の実施にあたっては、予算的制約もあることから、単独事業所を含めたすべての企業を対象に行うことは困難である。そのため、支所保有企業を対象とした場合に把握すべき調査事項について、ビジネスレジスターへの収録事項を踏まえたうえで検討していく必要がある。さらに、企業単位での調査を実施する場合は、本社の記入担当者に過度の負担が生じることから、プレプリント事項等も踏まえて検討していく必要がある。

#### 【検討のポイント】

- ① 企業構造の事前把握で把握すべき調査事項と事業所ごとの調査で把握すべき調査事項の整理
- ② 調査対象を踏まえた調査事項の検討
- ③ 記入者負担を考慮した調査事項の検討
- ④ 実際に本社等で把握している調査事項であるかの検討
- ⑤ その他（各種コード、年間売上高の把握等）